

「北川町曾立地区浸水対策事業」に係わる意見と本市の考え方

意見者	No.	区分	意見の概要	本市の考え方
1	1	計画	工事完了後、店舗が浸水することはないのか。もし浸水するようなことがあれば、納得できるような検討がなされているのか。	今回の事業では、曾立地区の浸水被害を軽減するため、築堤工事及び内水用排水ポンプ設置を行うこととしております。 事業完了後は、過去に浸水被害が発生した時の雨が降っても、浸水を生じさせないことを目的としております。
	2	説明	地区の説明会では、何がなんだか分からない人が多かったようだ。もっと分かりやすく説明してもらいたい。 曾立下班的の工事に関係のある人達の説明会を行ってほしい。	地元説明会につきましては、適宜行っていく予定です。内容については、図や写真等を用い皆様にわかりやすく説明できるよう工夫して参りたいと思います。 また、土木課、北川総合支所産業建設課にご連絡いただければ、個別の説明にも伺いたいと考えております。
2	3	工事期間	浸水対策の手法については築堤方式が最も適当であるという延岡市の意見には同意する。 工事期間は3年間と想定されているが、その期間の短縮を目指してもらいたい。曾立地区には教育・医療・福祉機関もあり、工事期間が長期となることは、市政が北川地区の教育軽視・人命軽視の姿勢を取っていると捉えられかねない。	延岡市としましても、事業期間の短縮につきましては大変重要な課題であると認識しています。 事業完了までには、設計、用地買収、家屋移転、道路、橋梁、築堤、ポンプ設備工事等が必要であり、ある程度の期間は必要となります。 本年度実施する詳細設計において、できる限りの工期短縮となる計画を立案することとしておりますが、工期短縮にとって、やはり用地買収や家屋移転における地域の方々との交渉が最も重要と考えられますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。
3	4	計画	堤防増強建設作業・前・中・後に予測される巨大地震被害も含めて、永続的浸水対策になるべきである。 具体的意見として ①地区内の道路、耕作放棄地、空家、中高層建築物に貯水槽を設ける。 ②河川内の自然友好生物に配慮するとともに、樹木の剪定を行う。 ③雨水を電気分解し、酸素・水素に分解する。	①貯水槽の設置は、今回想定している水量を貯蔵するためには膨大な容量の水槽が必要となり、設置するための土地も広大となります。 曾立地区は、病院や介護施設等の建物も多く、移転となった場合は、多額の費用や長期の時間を要する事で、通院者や入居者の方々にもご迷惑をお掛けすることとなり、費用や時間などの面から現実には困難な状況です。 ②曾立谷川にはデータ上、希少生物の生存は確認されておりませんが、工事着手前に調査を実施したいと考えております。また、河川内にある流れを阻害する樹木については、伐採することとしております。 ③雨水の電気分解には多額の費用と工期が掛かり、できる限り事業期間の短縮を図る計画としているため、採用は困難な状況です。